

KOBELCO SK200-9 油圧ショベル

(バックホウ)

標準仕様書

(R0)

2013年 02月 20日

コベルコ建機 株式会社

1. 形式名称	KOBELCO SK200-9
2. 車名及び型式	コベルコWDR-YN13/YQ13
3. 機械形式	クローラ式
4. 作業装置	
4.1 形式	バックホウアタッチメント
4.2 バケット容量	定格 (山積) 容量 0.80 m ³ 平積容量 0.59 m ³
4.3 標準積載質量	1,060 kg
4.4 作業寸法	
最大掘削半径	9,900 mm
最大掘削深さ	6,700 mm
5. 完成機寸法 (図1 参照)	
5.1 全長	9,560 mm
5.2 全幅	2,800 mm
5.3 全高	3,070 mm
6. 質量	
6.1 運転質量	19,900 kg
6.2 接地圧 (JIS A 8403-2)	45 kPa
7. 性能	
7.1 旋回速度	12.5 min ⁻¹
7.2 走行速度	1速 3.6 km/h 2速 6.0 km/h
7.3 登坂能力	70%
8. 本体寸法 (図2 参照)	
8.1 本体全長	4,940 mm
8.2 本体全幅	2,800 mm
8.3 上部旋回体全幅	2,710 mm
8.4 本体全高	3,070 mm
8.5 後端旋回半径	2,860 mm
8.6 旋回体後端距離	2,860 mm
8.7 旋回体後部下端高さ※	1,060 mm
8.8 タンブラ中心距離	3,370 mm
8.9 クローラ全長	4,170 mm
8.10 クローラ全幅	2,800 mm

8.11 クローラ高さ	960 mm
8.12 クローラ中心距離	2,200 mm
8.13 クローラシュー幅	600 mm
8.14 最低地上高さ※	450 mm

※シューラグ高さを含まず

9. エンジン

9.1 名称	日野 J 0 5 E - T J
9.2 形式	4 サイクル水冷 4 シリンダ 直接噴射式排気ターボ過給 (インタークーラー付) 付ディーゼルエンジン
9.3 シリンダ数-内径×行程	4 - 112 mm × 130 mm
9.4 総行程容積	5,123 ml
9.5 定格出力	117 kW/2,000 min ⁻¹ (JIS D0006-1) 124 kW/2,000 min ⁻¹ (ISO 14396)
9.6 最大トルク	640 N·m/1,600 min ⁻¹ (JIS D0006-1) 660 N·m/1,600 min ⁻¹ (ISO 14396)
9.7 始動電動機	24 V、5.0 kW
9.8 充電電動機	A C オルタネータ、24 V、1.2 kW
9.9 蓄電池	電圧 12 V 容量 96 A·h × 2 個
9.10 空気清浄器	遠心式

10. 油圧装置

10.1 油圧ポンプ

10.1.1 形式	可変容量型アキシャルピストン式 2 個 + ギヤ式 1 個
10.1.2 ポンプ制御方式	電気油圧ポジコン
10.1.3 吐出し量	ピストン 2×220 l/min ギヤ 1×20 l/min

10.2 制御弁

10.2.1 形式	スプールタイプ×8 連×1 個
10.2.2 操作方法	油圧パイロット式

10.3 リリーフ弁セット圧力

10.3.1 掘削回路	34.3/37.8 MPa
10.3.2 走行回路	34.3 MPa
10.3.3 旋回回路	29.0 MPa
10.3.4 油圧パイロット回路	5.0 MPa

10.4 作動油フィルタ

10.4.1 リターンフィルタ

ろ過精度 $\beta_{10} \geq 8$

10.4.2 サクションストレーナ

ろ過精度 1-177 μm

11. 操縦装置

11.1 キャブ

構造：鋼製密閉形

11.2 運転席

位置：上部本体左前方

前後/上下調整式，チルト・リクライニング装置付

11.3 操作レバー類

11.3.1 エンジンコントロール

アクセルペダルを回して回転数制御

11.3.2 走行操作

2本のレバーを前後して、各々のトラックを独立に前後進させる

11.3.3 作業用

左右2本のレバーが4つの作動を制御

旋回操作

左手側のレバーを左右して、左及び右方向に旋回

ブーム操作

右手のレバーを前後して、ブーム下げ及び上げ

アーム操作

左手のレバーを前後して、アーム押し及び引き

バケット操作

右手側のレバーを左右して、掘削及び放出

11.4 標準装置

インストルメントパネル チェック&セーフティモニター、作業モード切換え等

オートアクセル

キャブ

ワイパー、ルームランプ、エアコン、スピーカ

その他

ヘッドライト、(ブーム、上部本体右)

12. 旋回装置

12.1 旋回サークル

形式 単列玉軸受内歯付

12.2 旋回油圧モータ

形式 定容量形アキシャルピストン式 1個

12.3 減速機

形式 遊星2段

12.4 旋回ブレーキ

形式 油圧式ブレーキ

12.5 旋回駐車ブレーキ

形式 多板、湿式ブレーキ

13. 下部走行体

13.1 動力伝達装置

13.1.1 走行油圧モータ

形式 可変容量形 アキシャルピストン式 2個

カウンタバランス弁付

13.1.2 減速機

形式 シュー幅内収納式遊星2段

13.2 制動装置

13.2.1 走行ブレーキ

形式 油圧式ブレーキ

13.2.2 駐車ブレーキ

形式 多板、湿式ブレーキ

13.3 足廻り装置

13.3.1 クローラシュー

形 式 鉄クローラ、組立式トリプルグローサーシュー（シールドリンク）

シュー枚数（片側） 4 6

グローサー高さ 2 5 mm

13.3.2 アップローラ

片側 2 個、フローティングシール

13.3.3 ロワローラ

片側 7 個、フローティングシール

13.3.4 フロントアイドラ

片側 1 個、フローティングシール

13.3.5 クローラベルト張り調整装置 グリースシリンダ式クッションスプリング付

14. バックホウアタッチメント（標準 2.94 m アーム）

14.1 容量、寸法及び作業範囲図（図 3 参照）

(1) バケット容量

定格（山積）容量 0.80 m³平積容量 0.59 m³

(2) バケット幅

1,060 mm

サイドカッタ付バケット幅

1,160 mm

(3) バケット質量

660 kg

(4) 作業寸法

A : 最大掘削半径 9,900 mm

A' : 床面最大掘削半径 9,730 mm

B : 最大掘削深さ 6,700 mm

C : 最大掘削高さ 9,720 mm

D ; 最大ダンプ高さ 6,910 mm

E : 最小ダンプ高さ 2,430 mm

F : 最大垂直掘り深さ 6,100 mm

G : フロント最小旋回半径 3,540 mm

H : フロント最小旋回半径時全高 7,680 mm

L : 床面仕上最小半径 2,270 mm

14.2 油圧シリンダ

ブーム	本数	2本	内径	120mm	行程	1355mm
アーム	本数	1本	内径	135mm	行程	1558mm
バケット	本数	1本	内径	120mm	行程	1080mm

14.3 掘削力（計算値）

(1) バケットシリンダによる最大掘削力	143 kN/157 kN	(JIS A 8403-2)
(2) アームシリンダによる最大掘削力	102 kN/112 kN	(JIS A 8403-2)

15. 水・油類の容量

(1) 油圧作動油	全量	230 l
	タンク内油量	130 l
(2) 冷却水		23 l
(3) エンジン潤滑油		21 l
(4) 燃料		370 l

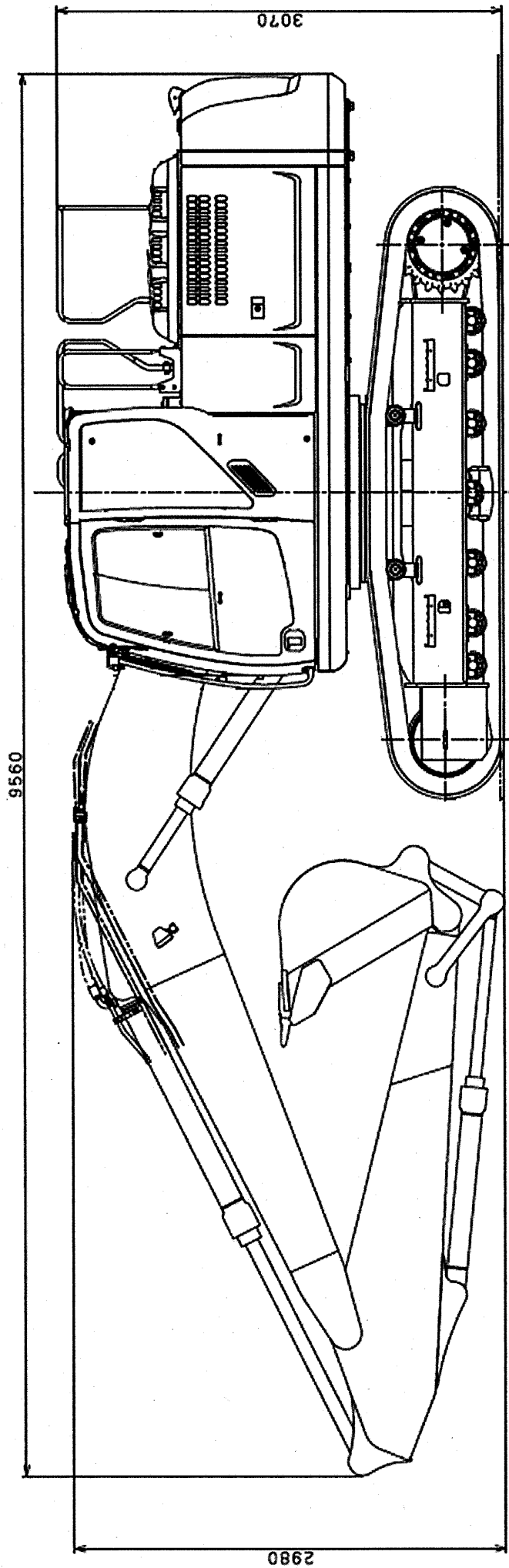
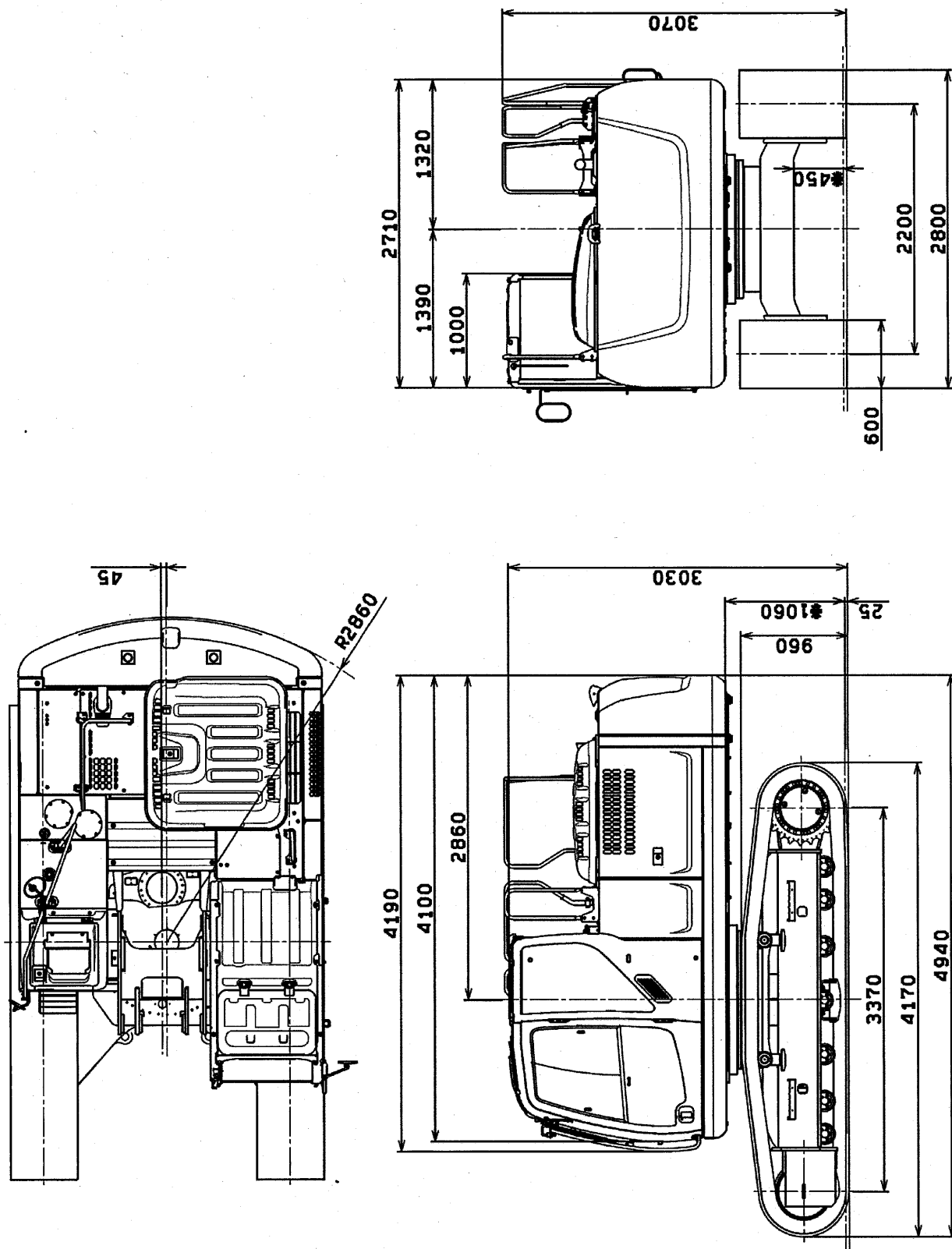
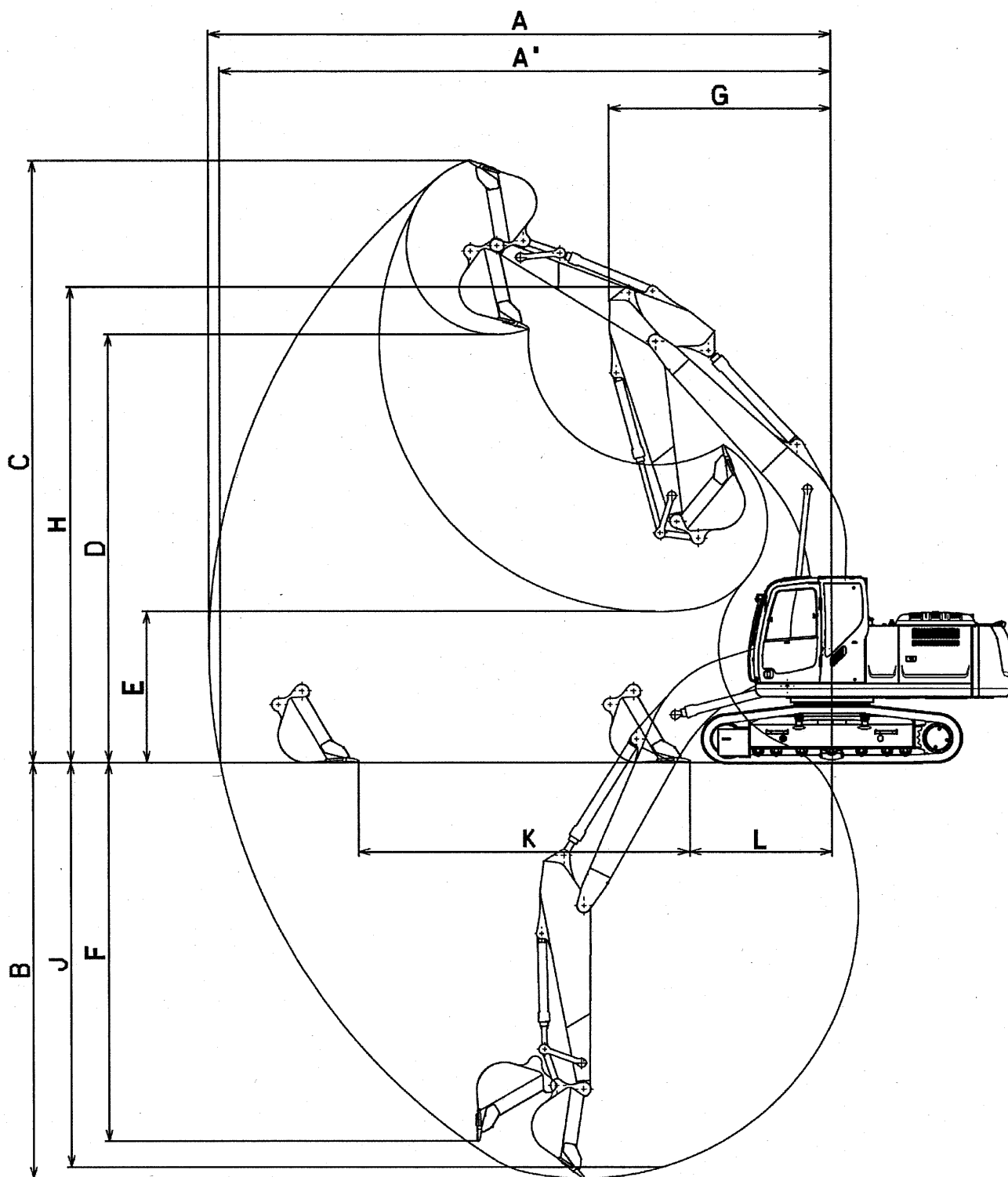


图1. 完成機寸法 (mm)



※ハ、シューラグ高サヲ含マス

図2 本体寸法 (mm)



SK200-9 主要諸元

◆性能◆

バケット容量	定格(山積)容量/平積容量	m ³	0.80 / 0.59
旋回速度		min ⁻¹	12.5
走行速度	1速	km/h	3.6
	2速	km/h	6.0
登坂能力		%	70
最大掘削力	バケット 新JIS	kN	143 / 157
	アーム 新JIS	kN	102 / 112
最小旋回半径		mm	3,540

◆寸法◆

全長	mm	9,560
全幅	mm	2,800
全高	mm	3,070
最低地上高	mm	450

◆質量◆

運転質量	kg	19,900
------	----	--------

◆エンジン◆

名称	日野 J 0 5 E - T J	
型式	4 サイクル水冷 4 シリンダ 直接噴射式排気ターボ過給 (インター クーラー付) 付ディーゼルエンジン	
シリンダ数-内径×行程	mm	4-112×130
総排気量	ml	5,123
定格出力/回転数	kW/min ⁻¹	117 / 2,000
最大トルク/回転数	N·m/min ⁻¹	660 / 1,600

◆油圧装置◆

油圧ポンプ形式	可変アキシャルピストン式+ギヤ式	
設定圧	MPa	34.3
旋回モータ形式	アキシャルピストン式	
走行モータ形式	アキシャルピストン式	

◆容量◆

油圧作動油(全量/タンク内油量)	L	230/130
燃料	L	370

KOBELCO SK200-9 油圧ショベル

(バックホウ)

諸 元 表

(R0)

2013年 02月 20日

コベルコ建機株式会社